

女子リーグ「クイーン・リーグ (Q リーグ)」、中学生リーグ「ニュー・エイジ・リーグ (N リーグ)」

2024-2025 シーズン第 2 戦：わたらせクリテリウム第 1 戦・レポート

5 月 25 日 (土)、栃木県栃木市藤岡町の藤岡渡良瀬運動公園内わたらせサイクルパークにおいて「わたらせクリテリウム第 1 戦」が開催されリーグのシリーズ第 2 戦がおこなわれた。



リアルスタートを切るエスポワール A 出場選手たち Photo:QN リーグ事務局

今シーズン初開催となるこの大会は 2 年前から宇都宮ブリッツェン主催でシリーズ開催がスタート。わたらせサイクルパークの完全クローズされた 1 周回＝約 1.1km を走るクリテリウムレースだ。事前に応援メッセージを走行コース上に書くことができたり、弊リーグ主催のスクール企画「スキルアップ！ロードレーススクール」など、さまざまなイベントも実施された。朝から穏やかな天候に恵まれた会場では出店ブースも賑わい、ゲストには宇都宮ブリッツェンから本多 晴飛、ヴェロリアン松山からは阿部 嵩之とプロ選手の登場もあり各クラスともレースが盛り上がった。

午前 9 時 30 分から開始となったレースと並行するかたちで、周回コースの内側を利用して QN リーグ主催の「スキルアップ！ロードレーススクール」を開講。今回は特別版として、女子と中学生以下のジュニアのみが参加できる設定でスクールを実施した。



スクール専用ルートに揃い、スタートのコツを聞くスクール受講者 Photo:QN リーグ事務局

まずは自転車に乗る準備が完了してからでもできる準備運動と、ヘルメットの位置合わせや自転車のブレーキなど走行前チェックの手順を指導。その後は事前に受けた「教えて欲しい事アンケート」に応える形で、U ターンを交えた走行でコーナリングを指導。特にブレーキだけでなくペダリングでもスピードを調整するコツを覚えてもらった。 さらにロードレースならではの2列走行もUターンをおこないつつ、集団走行で注意したいポイントを実感してもらい、スムーズなスラローム走行のコツやレースで重要なスタートのコツも指導した。

この後は乗車中におけるペダル加重、および体重を自転車の上で前後・左右に移動させる感覚を覚えて体験したり、休憩後には弊スクール名物にもなっている「ボトル渡し」のコツを指導しながら、補給する側とされる側の2組に分かれてスムーズに渡せるように反復練習。そのなかで暑くなる季節に向けての補給のポイントも伝授。 最後にレース中の機材トラブルでの対処実技として、メカニック役と選手役に分かれてホイールを交換した後に選手をサポートして送り出す手順を覚えてもらった。



ロードレースならではの選手とサポート、それぞれの役割を実践し覚えてもらう Photo:QN リーグ事務局

国内のハイレベルなロードレースになれば、補給などのチームサポートのために「アテンダント資格」が必要となる。補給やメカニック対応の練習は、これからアテンダント資格取得やサポートスタッフを目指す人に向けて、どのようなサポートが必要かをリアルに学べる良い機会になるだけでなく、選手がレース本番でサポートをスムーズに受けられるコツも学べると考えている。

今回もスクールは休憩を挟みながら約 2 時間で実施。今後も春から夏ぐらいの時期にかけてはロードレースに関するスクールを実施し、秋から冬にかけてはシクロクロスに関するスクールを企画し、継続的に事前リクエストに応じながら細かい対応の出来るスクールを続けていく。



スクール後にエスポワールやキッズレースへ参加する受講者の姿も。レース前の良い予習にもなったようだ

Photo:QN リーグ事務局

さて、レースは男子の各カテゴリーで宇都宮ブリッツェンのゲストライダーが先頭を残り 1 周回まで、事前指定した時速 (km/h) に達しないようコントロールしたなかでのレーススタートとなる。これはクリテリウム経験が少なくレースにちょっと自信がない人もチャレンジしやすい「クリテリウム MAX25」「クリテリウム MAX35」など、わたらせクリテリウムならではのクラスで午前中に開催された。

*** 見方を変えての評価**

女子の独立したクラスは撤廃され、全てのクラスにおいて女子選手がエントリーできる方式に変更され、女子だけの表彰が設定されてなかった。だが見方を変えれば、今大会は関東各地からのアクセスも容易で、平坦コースのクリテリウムレースであり、JBCF などへのステップアップを考える女子選手には絶好の腕試しにもなるし、午前の弊リーグ・スクール受講と組み合わせればレース挑戦の予習も可能だ。

また、スポーツとビギナーの A は男子クラス、スポーツとビギナーの B は A でエントリーする「男子以外」となる、女子と男子マスターズとしてはどうだろうか？ これならば現在、社会的な課題となっ

ているジェンダーフリー選手も「男子以外」として B でエントリーもできる。このようにぜひとも、再度の女子クラス設定を考慮いただきたいし、高校生以上女子の「Q リーグ」を運営する弊事務局としては、今後もわたらせクリテリウムのさらなる認知とともに、女子選手参戦の増加をバックアップしたい。今回は、女子クラスの設定が無くなったため、急遽 Q リーグのみ対象レースから除外することとした。



スタートで合図を待つエスポワール B の選手達 Photo:QN リーグ事務局

午後からは気温が上がって少し汗ばむなか、いよいよ N リーグの中学生男子 (N) と女子 (NW) 対象のエスポワール各レースがスタートとなった。こちらは各クラスが、C は小学 4 と 5 年生の男女、B は小学 6 年生と中学 1 年、A が中学 2・3 年生と細かく分かれており、N リーグでは中学 1 年生が対象の「エスポワール B」、そして中学 2・3 年生が対象の「エスポワール A」の 2 つに分かれるため、それぞれのレース完走者にリーグポイントを付与することになっている。これにより、わたらせクリテリウムでは、特に中学 1 年の N リーグ登録選手にとって大量ポイント獲得のチャンスとなるのだ。

そんなチャンスとなるエスポワール B は午後 2 時にスタート。エントリーは 12 名でニュートラル 1 周回から、いったんスタート位置に停止してからレース周回に入るのは、他のクラスと同じわたらせクリテリウムならではの措置。これにより選手たちには一層、良い緊張感が走る。

6 周回のレース、冒頭から N リーグ登録の青木 絆星 (アオキ キセキ・ブラウ・ブリッツェン U15) と茂木 陽向 (#1-PRIMERA-) 2 名が他の選手達から先行し飛び出す。その勢いからか、後続の集団は 1 周回を終えてコントロールラインに戻るまでに崩壊。しかし、後続もそのままでは先行する 2 名を追えないと判断したようで、齋藤 荘太や笹澤大希 (群馬グリフィン)、大関 麟太郎 (スペースゼロポイント) が集団を形成し追走を開始。先行し逃げ続ける青木と茂木の 2 名まで 15 秒差まで詰めたが、残り 1 周回では逆に差が広がってしまい、後続 3 名から齋藤が先行に対して単独でブリッジをかける状況に。



最初の周回から先行した青木（写真左の青ジャージ）と茂木（写真右の黄色ジャージ）。逃げを決めたい茂木とマークを外さない青木の熱い闘いは茂木に軍配が上がる。これが日本ジュニアの底力
Photo:QN リーグ事務局

一方で、先行し逃げ続けた青木と茂木は、ほぼ茂木が先頭に立って周回を重ねており、茂木によると「1人で逃げを決めたかった」という。結局、2名のままゴールスプリントへ。なんとかゴールを差し切りたかった青木を茂木が力で捻じ伏せて勝利を手に入れた。「(今回は) 逃げを決められず悔しかったので、次は逃げを決めて勝ちを取りたい!」と、既に次のレースに向けての目標を茂木は語ってくれた。



ゴール直後の勝利者インタビューで、悔しそうに走り振り返る PRIMERA 茂木（写真右）
次回レースへのリベンジを高い目標とともに熱く語ってくれた Photo:QN リーグ事務局

続いてのスタートとなるのがエスポワール A。エントリー14名で、こちらも阿部 嵩之選手による先導でニュートラル1周を終えてからレース開始となった。8周回のレース、冒頭で動いたのは山口 虎太郎

(COW GUNMA) を先頭にした 8 名が先頭集団を形成。この集団には、現ポイントリーダーの西澤 崇介 (AVG0)、渡邊 公太 (ブリッジ U15)、東理 日楠詩 (TeamFITTE)、高橋 祐樹 (LINKVISION GIRASOLE CYCLING)、池田 竜雅 (Team 一匹狼) の N リーグ登録選手も乗っている。8 名でローテーションをしながらグングンとスピードを上げていき、後続とのタイム差が 10 秒ほどまで開く。



(左写真) 白熱するレーススタート前に諸注意を呼びかけるヴェロリアン松山・阿部選手



(右写真) バトルマリンジャージ防衛にチャレンジする西澤 (写真中央) Photo:QN リーグ事務局

4 周回目に入ったところで LINKVISION 高橋が単独でアタック！これに集団が反応し、入れ替わるように今度は FITTE 東理が先頭に出る。この揺さぶりで次周回で再び先頭集団がまとまったものの、7 名に減り、さらに集団は 6 名となる。残り 1 周回では、ここから 4 名が抜け出すも決定打とならずゴールスプリントへ向かう最後の直線では 6 名に。この直線で上手く抜け出したのが西澤！見事に最後まで襲い掛かる N リーグのライバル 5 名を振り切って開幕戦に続く連勝をつかんだ。



(左写真) レース序盤、COW GUNMA 山口を先頭に先行集団が形成され、ここから我慢の周回となる



(右写真) 今レースでも積極的な動きを見せた FITTE 東理 (写真左) は 2 位入賞 Photo:QN リーグ事務局

ゴール直後「何としても、このリーダージャージを守りたかった」とバトルマリンジャージを防衛できた安堵の表情を見せた西澤に、ゲストでレース先導をしたヴェロリアン松山・阿部 嵩之選手は「脚を使って逃げたり、積極的に動いたうえでゴールを勝ち取ったのは素晴らしい！」と高く評価していた。



さらにポイントリーダー授与式では西澤に、今レースでは1位から5位がNリーグ登録選手で占めるという結果に関して問うと「それだけ厳しいレースだったけど、頑張れました」と笑顔でコメント。副賞プレゼンターとして登壇いただいた阿部選手からはNリーグについて「このように何か明確な目標があるというのは、目的が具現化するので素晴らしいと思います。この先もずっとポイントリーダージャージを守ってほしい」とコメント。



続いて今日の西澤の走りについては「一目見て、これもしかしてジャージを守りたい！というレース運びをするのかな？とスグに判りましたので、今後はそれを覚られないようなレースをするか、俺はジ

ジャージを完璧に守るからね！という力強い意思表示をしながら、他の選手たちにプレッシャーをかけるような走りをして欲しいと思います」とエールを送ってくれた。更に逃げのスペシャリストとして阿部選手からアドバイスをお願いしたところ「このジャージを防衛するのと逃げは、ちょっと違うのですが（笑）ジャージを守るなら守る、逃げるなら逃げるというのを、ちゃんと分けてレースをして欲しい」とクレバーな動きをアドバイスしてくれた。



表彰式の後に集まってくれたNリーグ戦士達。写真左から順に、現ポイントリーダーAVG0 西澤、2021-2022 シーズン N リーグ年間総合ポイントリーダーで現在は高校3年生のブラウ・ブリッツェン水上、今大会2位で現ポイントランキング4位に浮上した FITTE 東理、今大会3位の LINKVISION 高橋、ちょっと後ろに隠れているのは5位の一匹狼・池田。レース後も和気あいあいでききライバル！

この良い選手・チーム関係もNリーグの伝統なのかもしれない Photo:QN リーグ事務局

結果、エスポワール A も B も上位を N リーグが独占する、非常に良い形で第 2 戦を終えることが出来た。最後の記念撮影では、2021-2022 シーズンの N リーグ年間総合ポイントリーダーに輝いた水上 央渉（ブラウ・ブリッツェン）も交えて、エスポワール A で入賞した N リーグの後輩達と写真に納まってくれた。今期で 5 シーズン目となるリーグには、このように頼もしい後輩達も続いている。今後も多くの中学生や女子達の目標になるような選手が育つように、活躍の場を広げられる活動をおこなっていきたいと改めて強く思った。

今大会の年間総合ポイントリーダー授与式では、Bioracer 様より「アメジストジャージ」「バトルマリ
ンジャージ」各リーダージャージのご提供いただきました。また、Q リーグは株式会社 隼様より「ア
スリチューン Q リーグポイントリーダー賞」、N リーグ中学生男子 N は武田レッグウェア株式会社様
より「RxL N リーグ中学生男子ポイントリーダー賞」、N リーグ中学生女子 NW はアイリス株式会社様
より「EXLUB N リーグ 中学生女子 NW ポイントリーダー賞」を、それぞれ賞品ご提供いただきました。
厚く御礼申し上げます。



表彰式後の記念撮影まで良い天候に恵まれた大会となった。アットホームな雰囲気ですぐに本格的なレースにチャレンジできる「わたらせクリテリウム」。ジュニアや女子選手も是非ご参加いただきたい

Photo:QN リーグ事務局

<レポート概要>

写真撮影：QN リーグ事務局 テキスト：須藤むつみ（QN リーグ事務局）

協力：宇都宮ブリッツェン、わたらせサイクルパーク

*わたらせクリテリウム第1戦公式ホームページ（次回は9月14日に開催決定！）

<https://watarase-criterium.jp/race/858/>

現時点での2024-2025Qリーグ・Nリーグ対象レーススケジュールはこちらから。

<http://www.jbrain.or.jp/q-n-league/race-profile.html>

次戦は7月7日（日）開催の「そでがうらサマーサイクルロードフェスタ」となります。

<https://summer-sodegaura.powertag.jp/>

Qリーグ・Nリーグの登録はこちらから。各対象レース開催日の3日前まで登録完了すればポイントランキングに反映。今後も女子とジュニア中学生が活躍するリーグにご声援よろしくお願いします！

<https://moshicom.com/102128/>